



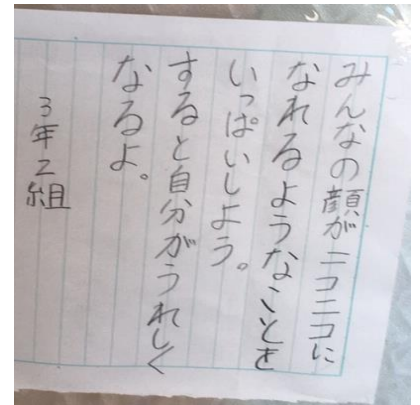
山西小学校便り

山西っ子

《なかよく・かしこく・たくましく》

令和3年8月31日(火) no. 21 文責：上田
予防と学びの両立のために

三年二組の子が一年教室の入口にこんな素敵なお紙をしてくれました。ニコニコ笑顔はいいですね。



新学期を迎えた8月末、毎日のように県下では100名を超える新型コロナウイルス新規感染者が報じられています。この第5波では、感染力の強いデルタ株により子どもの感染急増により子どもを介して学校や家庭へ感染拡大が危惧されています。

教育委員会や学校からも、再三、感染防止策をお知らせしていますが、依然、予断を許さない状況です。この数日、兄弟姉妹を含む家族の発熱等のため登校できなかった子、既往症等があり感染不安のため登校を見合わせた子、さらには登校後に兄弟姉妹の発熱等で早退した子などが複数名います。

あらためて先週末に各家庭に配布した「児童生徒・保護者の皆様へ～学校・家庭等における感染防止対策についてのお願い～」「新型コロナウイルス感染症の感染防止のための確認事項について」をよくお読みいただき対応をお願いします。

ちなみに、昨日8月30日(月)、家庭で検温をしていなかった子が多数いました。登校後に発熱した場合、家族も含めた朝の健康状態は早退の判断材料ともなります。健康観察カードの記入提出をよろしくをお願いします。

また、家族も含め PCR 受検の場合には、受検が分かり次第、速やかに電話あるいは学校 HP やメールによる学校への連絡をお願いします。現状では、児童やその家族が PCR 等を受検する場合、医師や保健所から学校への直接の連絡はなく、医師や保健所から受検について学校に連絡してほしいとの指示はありませんが、他児童への感染の疑いが生じているとご理解いただき、速やかな学校への連絡をお願いします。もちろん受検後の結果については、忘れず学校への連絡をお願いします。出席停止等の判断もありますが、地域の感染状況を把握し、教育活動の安全を確保することにもつながります。学校では感染予防の観点から感染防止の対策を検討しなくてはなりません。ご協力をお願いします。今後とも、村教育委員会や保健所等の関係機関との一層の連携も図っていきます。

先日、文科省から休校や学級・学年閉鎖を判断するためのガイドラインが出されました。学校でのクラスターの発生を懸念する状況です。家庭との連携が急務だとも報じられています。運動会や集団宿泊教室、生活科・社会科見学旅行、学習発表会、さらには校外学習等々の変更も考えられますが、子どもたちが友達や周りの様々な人や物事から豊かに学ぶ機会を保障することも大切な学校の役割です。様々な対策を家庭にもお願いしていますが、予防と学びの両立のためにご理解ご協力を重ねてをお願いします。